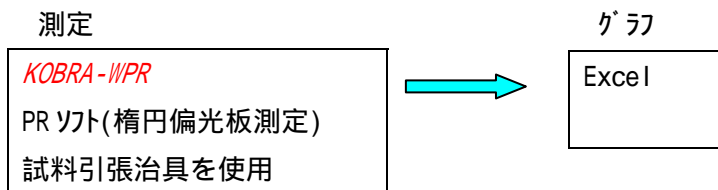


7. 円偏光板に引張荷重をかけたときの楕円率・楕円方位角の変化(実測)



ポイント;PRソフトのメニュー-1.楕円偏光板測定を使用します。

15mm×60mm に切り出した試料を試料引張治具にセットし、引張荷重を変えながら測定します。

偏光板透過軸と位相差板遅相軸が約 45° で貼合された市販の円偏光板を用い、引張方向に対して位相差板の遅相軸が平行の場合と垂直の場合について、荷重 300gf ~ 1000gf の範囲を 100gf ごとに変えて、楕円率と楕円方位角を測定しました。

測定結果

波長 590nm での各数値についてまとめると、次のグラフのようになり初期の状態を基準にすると楕円率が 0.05 ~ 0.06 程度変化することがわかります。

